

英語学研究会（堀田ゼミ）の卒業論文執筆規定

2018年4月10日

堀田 隆一

1. A4 判用紙に 7,000 語程度（補遺と参考文献を除く）の英語で執筆することを原則とする。
2. 表紙は、所定の形式に従うこと（裏面を参照）。
3. 原稿の書式の詳細については、*MLA Handbook for Writers of Research Papers* の最新版に従うこと。
4. 卒業論文に関する相談については各学期の適当な時期にそのための時間を設定するが、その他の個人的な相談も受け付ける。
5. 卒業論文の草稿（第 1 稿）は遅くとも 11 月末日までに必ず一度は紙媒体で堀田に提出し、改善のためのアドバイスを受けること。12 月以降に初めて提出されたものについては、卒業論文指導を行わず、最終的な卒業論文も受け付けない。
6. 原稿は、当該年度の指定の日時（例年 1 月前半）までに Word ファイルあるいは PDF ファイルで学生部へオンライン提出すること（「事務提出」）。
7. 「事務提出」の後、数日以内に（例年 1 月中旬）にゼミ授業時などに堀田個人へ（簡易）製本された紙媒体で提出すること（「ゼミ提出」）。
8. 「ゼミ提出」前に、ゼミの仲間の間などで互いに英文校閲を行うのが望ましい。

The Development of Progressive Verb Forms: A Corpus-Based Study

A Thesis Presented to
The Department of English and American Literature,
Faculty of Letters, Keio University

In Partial Fulfillment of the Requirements
for the Degree of Bachelor of Arts

by
Taro Keio
No. 12345678

Supervisor: Professor Ryuichi Hotta

December 2018